

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年10月4日時点)

➤ **ウクライナ軍が露西部クルスク州への越境攻撃を実施する一方、露軍は、同攻撃に対応しつつも、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続している模様**

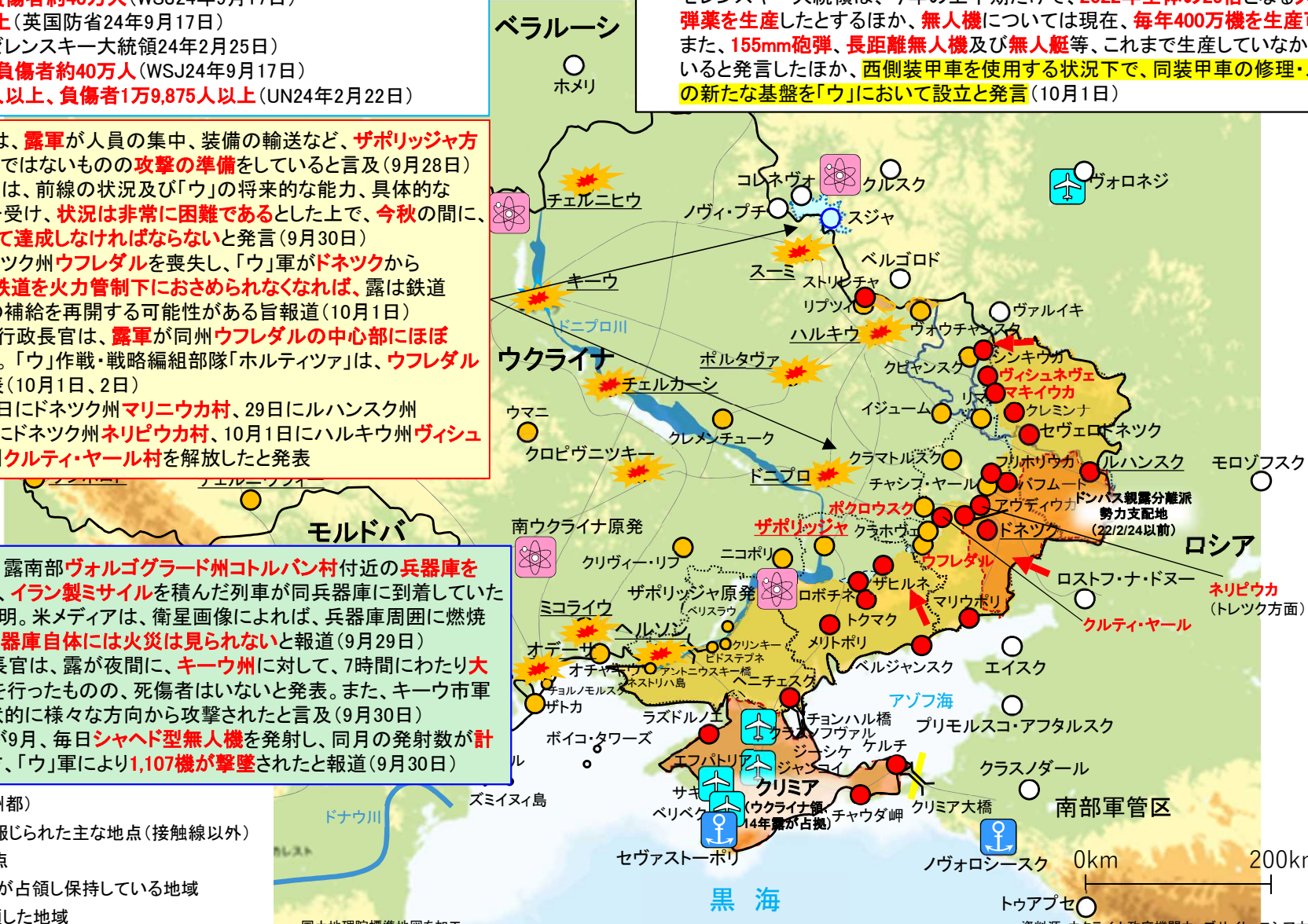
戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: 死者約18万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)
: 死者約20万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
: 死傷者61万人以上(英国防省24年9月17日)
- 「ウ」軍: 死者3.1万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)
: 死者約8万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
- 「ウ」市民: 死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上(UN24年2月22日)

- 「ウ」南部軍報道官は、露軍が人員の集中、装備の輸送など、ザポリヅジャ方面に向けて、大規模ではないものの**攻撃の準備**をしていると言及(9月28日)
- ゼレンスキー大統領は、前線の状況及び「ウ」の将来的な能力、具体的な任務について報告を受け、**状況は非常に困難である**とした上で、**今秋の間に、達成できることは全て達成しなければならない**と発言(9月30日)
- 「ウ」メディアは、ドネツク州ウフレダルを喪失し、「ウ」軍がドネツクからザポリヅジャまでの**鉄道を火力管制下におさめられなくなれば**、露は鉄道輸送による前線への補給を再開する可能性がある旨報道(10月1日)
- 「ウ」ドネツク州軍事行政長官は、**露軍が同州ウフレダルの中心部にほぼ到達している**と言及。「ウ」作戦・戦略編組部隊「ホルティツァ」は、**ウフレダル市からの撤退**を発表(10月1日、2日)
- 露国防省は、9月27日にドネツク州マリノウカ村、29日にルハンスク州マキイウカ村、30日にドネツク州ネリピウカ村、10月1日にハルキウ州ヴィシユネヴェ村、ドネツク州クルティ・ヤール村を解放したと発表

- 「ウ」軍情報総局は、露南部ヴォルゴグラード州コトルバン村付近の**兵器庫を攻撃**したとするほか、**イラン製ミサイル**を積んだ列車が同兵器庫に到着していたとの情報があると表明。米メディアは、衛星画像によれば、兵器庫周囲に**燃焼がみられるものの兵器庫自体には火災は見られない**と報道(9月29日)
- キーウ州軍事行政長官は、露が夜間に、**キーウ州**に対して、7時間にわたり**大規模な無人機攻撃**を行ったものの、死傷者はいないと発表。また、キーウ市軍事行政長官は、**波状的に様々な方向から攻撃された**と言及(9月30日)
- 「ウ」メディアは、露が9月、毎日**シャヘド型無人機**を発射し、同月の発射数が**計1,339機**となった一方、「ウ」軍により**1,107機が撃墜**されたと報道(9月30日)

- 米国防省は、防空システム用の弾薬等の**24億ドル相当(新規調達)**の支援を発表(9月26日)
- プーチン大統領は、「ウ」侵略について、**すべての目標が達成されるだろう**と発言(9月30日)
- ゼレンスキー大統領は、今年の上半期だけで、**2022年全体の25倍となる大砲及び迫撃砲用の弾薬を生産**したとするほか、**無人機**については現在、**毎年400万機を生産可能**であると述べた。また、**155mm砲弾、長距離無人機及び無人艇等**、これまで生産していなかった武器を生産していると発言したほか、**西側装甲車を使用する状況下で、同装甲車の修理・メンテナンスを行うための新たな基盤を「ウ」において設立**と発言(10月1日)



- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が占領した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等